

地域推薦枠医学生の卒前教育をどうするか？

～問題点の抽出と対策に関するシンポジウム～

2009年2月13日(金)

於：都道府県会館（東京 赤坂見附）

現在、新研修医制度をきっかけとして医師の偏在が顕著化し、地方において医師が中長期的に不足することは避けられない状況となり、地方の医療を維持して行くために、地域就労の義務を科した医師の安定的供給などが必要になっています。いわゆる地域推薦枠(特別推薦枠)医学生制度の創設と導入政策であり、これは近年徐々に増加し、特に平成21年度からは急増することが知られています。しかし、都道府県により、応募条件、呼び名、数、支援金額、義務条件もさまざまであり、一つの医大で条件が異なる医学生が存在する場合があります。この地域推薦枠医学生制度は、各都道府県2-3人ずつ募集している自治医科大学の制度に類似しているものの、教育研修に関しては各大学で各自の取組みが必要です。

来年度からは特に300名を超える学生が入学し、6年後から毎年多数の医師がそれぞれの地域で勤務することになります。一方、卒前教育、卒後臨床研修、後期研修などをどうするのか、これからの新たな課題も生じてきています。

そこで、地域推薦枠医学生の卒前教育や卒後研修に関わる全国の関係者各位にお集まりいただき、同医学生が夢と希望を持って医療が行えるような教育研修のあり方について、シンポジウムを企画致しました。

日 時：2009年2月13日(金曜日) 午後13:00～午後16:50

場 所：都道府県会館(東京 赤坂見附)1階大会議室

参加費：無 料

参加者： 特別推薦枠(地域枠)を有する全国の医学部・医大の教育関係者(シンポジストおよび、情報提供大学の1名の旅費は負担します。2名以上の参加も旅費は出せませんが可能です。)また、シンポジウムに興味のある都道府県自治体の関係者も参加可能です。(ただし旅費は出せません)

13:00 開始 開催趣旨説明(司会：井上和男 先生、嶽崎俊郎 先生)

13:10 基調講演① 医師確保の取り組みについて

(文部科学省 高等教育局 医学教育課長 新木一弘 様)

13:30 基調講演② 外国における医療過疎地のための医師養成

—我が国の「地域枠」に資すること—

(東京大学 公衆衛生学 准教授 井上和男 先生)

13:50 基調講演③ 全国の地域推薦枠医学生の現状

(鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター 根路銘安仁 先生)

14:00 ①自治医大の学生教育と卒後進路の現状

(地域医療学センター 地域医療学 教授 梶井英治 先生)

14:20 ②特別推薦枠学生教育～札幌医科大学の取り組み～

(地域医療総合医学講座 教授 山本和利 先生)

14:40 ポスター討論

(ポスターは当センターにて各大学の事前情報に基づき作成展示します。)

15:10 ③滋賀医科大学における地域基盤型医学教育の取り組み

(家庭医療学講座 教授 三ツ浪健一 先生)

15:30 ④岐阜大学地域医療医学センター(CRM)の取り組み

～地域枠創設をきっかけにした医学科カリキュラム修正～

(地域医療医学センター 教授 村上啓雄 先生)

15:50 総合討論

16:45 特別発言 (自治医科大学学長 高久史麿 先生)

16:50 終了



都道府県会館会場



司会者挨拶



趣旨説明



会場のポスター掲示コーナー



基調講演③



総合討論



特別発言の高久史麿 先生